

令和4年度学校評価における教職員アンケート結果(7月)【概要】

7月に実施した「令和4年度学校評価における教職員アンケート」(以下、教職員アンケート)の結果がまとまりました。学校改善に向けて、本結果を有効に活用していきましょう。

1 教職員アンケート集計結果 4:している 3:どちらかといえばしている 2:あまりしていない 1:していない

(1) 学校経営理念・重点教育目標

質問事項	4	3	2	1
1 私は、学校経営理念(「子どもを育てる学校」から「子どもが育つ学校」へ)の実現を常に目指し、当事者意識をもって各種実践や業務に取り組んでいる。	8.3%	91.7%	0.0%	0.0%
2 私は、重点教育目標(自分のよさに気づき、役立つ喜びを知り、未来社会で活躍できる子ども)の実現を常に意識し、日常の授業改善や学級経営等に取り組んでいる。	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%

【今後の方向性】

各種のフィードバックの場面等を通して、日常の授業や学級経営などの教育活動と学校経営理念や重点教育目標との関連について周知を徹底していきます。

(2) 授業改善等

質問事項	4	3	2	1
3 本校は、全教職員が参画し、各種調査等を活用した検証改善サイクルが確立している。	16.7%	58.3%	16.7%	8.3%
4 私は、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する日常の授業改善に努めている。	16.7%	75.0%	8.3%	0.0%
5 私は、子ども自身が学習のPDCAサイクルを回せる家庭学習を進めている。	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%
6 私は、自身の授業力を高めるため積極的に校内研修に参加している。	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%
7 私は、自身の授業力の向上を図ったり、課題を克服したりするために、個人研修(個人テーマの設定)に取り組んでいる。	16.7%	41.7%	41.7%	0.0%

【今後の方向性】

家庭学習について、主体的・自律的な取組としていく必要があります。そのために、家庭学習のねらいを改めて確認したり、手引の戦略的な活用を検討したり、学校としての家庭学習の取組を開発したりします。

教員免許の更新制度の廃止など、教師が自主的に研鑽に励む必要性が高まっています。学校としての校内研修の充実はもとより、自身の授業を振り返るなどして、自身の課題(個人設定テーマ)を明確にし、重点的に取り組む内容を決定し実践していきます。

各種調査等を活用した検証改善サイクルの確立に対する全教職員の当事者意識の更なる向上を目指して、授業改善策の成果や課題などを定期的に交流する機会を設けます。

(3) 学級経営の充実

質 問 事 項	4	3	2	1
8 私は、学級において心理的安全性（学級目標の共有、認め合い、弱みの開示）が醸成されるよう取り組んでいる。	33.3%	58.3%	8.3%	0.0%
9 私は、互いが適度に依存し合うこと（自律）を目指した学級間（通常学級・特別支援学級）の交流を進めている。	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%
10 私は、学年を超えて互いが尊重し合うことを目指した縦割り活動を進めている。	16.7%	25.0%	58.3%	0.0%

【今後の方向性】

学級間交流について、「交流及び共同学習」のねらいや有効な手立て等について、学校全体で共通理解します。

縦割り活動（異学年交流活動）のねらいを改めて確認するとともに、清掃活動以外にも取組を位置付けるよう検討します。

(4) 学校における働き方改革の推進

質 問 事 項	4	3	2	1
11 本校は、独自のアクションプランが策定されている。	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%
12 本校は、コアチームによる定期的な業務の見直しが進められている。	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%
13 私は、働き方改革の趣旨を理解している。	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
14 私は、自分と向き合う時間（子どもと向き合う時間）を確保している。	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%

【今後の方向性】

学校行事等の各種取組について、常にねらいを明確にし、そのねらいを達成するための取組を検討していくという流れを確立します。また、校内に業務改善の中核を担う「コアチーム」を編制し、働き方改革を加速させます。

(5) GIGA スクール構想の実現

質 問 事 項	4	3	2	1
15 私は、ICT 機器を活用した学校 DX（授業改善、業務改善、保護者等との情報の連携・共有）の実現を目指している。	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%
16 本校は、ICT 推進教師（仮称）を中心とした ICT 機器を効果的に活用できる力量を身に付ける研修が実施されている。	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%

【今後の方向性】

組織的に GIGA スクール構想の実現を図るため、本校における「ICT 推進教師」を位置付けるとともに、ICT 推進教師を中核とした「コアチーム」を編成し、校内環境の整備を図ります。また、日常的に端末の活用について情報交換ができる雰囲気醸成をします。

(6) 校種間及び学校・家庭・地域の連携・協働

質 問 事 項	4	3	2	1
17 本校は、「何のために」を明確にした幼稚園（保育所）、中学校と連携・協働した取り組みが進められている。	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
18 本校は、学校教育目標の実現と学校課題の解決に取り組む地域学校協働活動を中核とした地域とともにある学校づくりが進められている。	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%
19 本校は、学校経営の改善充実を図る戦略的な学校評価が実施されている。	16.7%	58.3%	25.0%	0.0%

【今後の方向性】

中学校との合同研修については、改めてねらいを明確にするとともに、研修部を中心に戦略を検討します。なお、中学校区における目指す子どもの姿など、管理職や学校運営協議会委員の考え等も含めて検討します。

地域とともにある学校づくりについては、教職員がコミュニティ・スクールとは何かを理解する必要があります。このため、学校運営協議会に教職員が参加する機会を設けます。

(7) 子どもたちの安全確保

質 問 事 項	4	3	2	1
20 私は、新型コロナウイルス感染症対応を最優先した学びの環境づくりに努めている。	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
21 私は、人を思いやったり、いじめに毅然と立ち向かったりする態度を育む道徳教育等を進めている。	50.0%	41.7%	8.3%	0.0%
22 本校は、いじめや災害等に対する危機意識の醸成を図る各マニュアル等の不断の見直しを行っている。	16.7%	58.3%	8.3%	16.7%

【今後の方向性】

中学校との合同研修については、改めてねらいを明確にするとともに、研修部を中心に戦略を検討します。なお、中学校区における目指す子どもの姿など、管理職や学校運営協議会委員の考え等も含めて検討します。

地域とともにある学校づくりについては、教職員がコミュニティ・スクールとは何かを理解する必要があります。このため、学校運営協議会に教職員が参加する機会を設けます。

※肯定的な回答（４と３）が８０％未満は網掛け